

た ま り う は い

多摩響杯

— A Q L 東京西部リーグ個人戦 —

平成 29 年 12 月 16 日 (土)

於：たましん RISURU ホール

正誤判定について

【全体ルール】

問題が読み切られてからの待ち時間は 3 カウント。ボタンが押されてからのシンキングタイムは 5 カウント。待ち時間一杯の直前でボタンが押されても、ブザーのボタンでキャンセルされてしまった場合、スルー扱いとする。回答がタイムアップのブザーと重なった場合、不正解とする。回答が聞こえなかった場合、正誤判定者は「聞こえませんでした」と言って回答者の再回答を求める。この場合、回答者は最初に言った答えをそのまま答えなくてはならない。回答が「正解に限りなく近いが、そのままでは正解にならない」と正誤判定者が判断した場合、正誤判定者は「もう 1 回」と言って、回答者の再回答を求める。(この時、回答者は最初に言った答えをそのまま言わず、別の答えを答える)。この回答が用意している正解と異なる場合は不正解とする。

【人名について】

人名は原則として、芸名・ペンネーム・登録名など最も一般的に知られている名前、及びそれに準ずる知名度のもののみを正解とし、本名や別号など「知名度が低い」と正誤判定者が判断した回答は「もう 1 回」の対象とする。東洋人名（日本・韓国・中国・台湾など、主に氏名表記に漢字が用いられる国）は、フルネームでの回答に限り正解とする。ただし、東洋人名でも、通称が固有名詞化した場合や、四股名はこの限りではない。西洋人名は、原則ファミリーネームのみで正解とする。ただし、明らかにフルネームを要求される問題の場合は例外とする。以上の人名に関するルールは、実在しないキャラクター等にも適用する。

【複数回答について】

複数の中から一つだけを答える問題の場合、問題文のままの順序で全てを答えた場合は正解とするが、それ以外の場合、全てを回答するのは不正解とする。

例：「天文単位とは、太陽とどここの間の距離でしょう？」Ans.地球→「地球」「太陽と地球」は正解、「地球と太陽」は不正解とする。

(「～、どこどここの間の距離でしょう？」だった場合は「太陽と地球」「地球と太陽」が正解、「地球」「太陽」のみはカウントを継続)

都道府県名と都市名の両方を答えた場合、原則都市名の方を答えたものとみなす。

例：「甲子園球場があるのは、何県でしょう？」Ans.兵庫県→「兵庫県」のみ正解、「兵庫県西宮市」「西宮市」は不正解。

【文章での回答について】

歌詞や文章の一部を問う問題で、問われているもの以上を回答した場合は、たとえ歌詞・文章通りでも「もう 1 回」の対象とすることがある。その場合、回答者はより絞った回答をしなくてはならない。ただし、ことわざや慣用句など、全体で 1 つのイディオムとして認知されている言葉の場合この限りではない。

ことわざや慣用句のすべてを答えた際、問われているものは正解だが、問題文と一部が異なっていた場合は「もう 1 回」の対象とすることがある。その場合、回答者は問われているもののみか、問題文通りのことわざや慣用句で答え直さなくてはならない。

予選 ローリングクイズ (all→16 人)

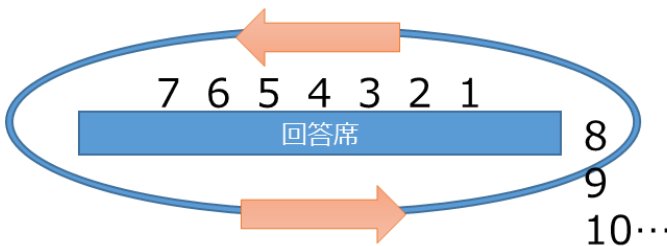
【総則】

- 4 セット制のローリングクイズ。
- 参加者を抽選により3 部屋に分ける。各部屋での並び順は「累計○の多さ」→「選手番号の小さい順」となる。
- 各セット 4○2×のローリングクイズを4 セット実施。セットの結果に応じて部屋の移動を行う。部屋の移動の仕方は後述の【部屋移動イメージ】のとおり。
- 各セットの総○数が10 に達すると勝抜けて、以降のセットには参加しない。
- 10○に早く到達した16 人が準々決勝進出へ、準々決勝進出できない8○以上獲得者はプレーオフへ。
- 順位判定は「10○到達の早さ」→（勝抜けが16 人に満たない場合）→「○の多さ」→「1○1×プレーオフ」で決定する。

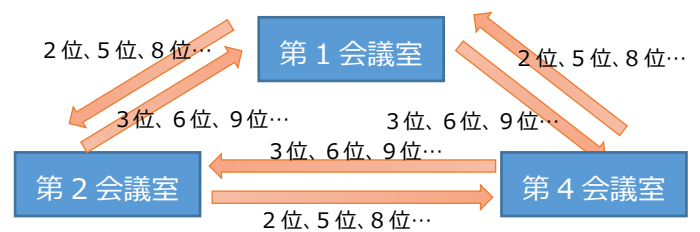
【各部屋でのルール】

- 問題数限定は（部屋の参加者数×2）問、4○2×のローリングクイズ
- ボタンの数は7つで、下図のような初期配置でクイズを開始する。
- 正解時は、正解者が列の最後尾に並び、ボタンについている先頭の者（【初期配置イメージ】における回答席左側の7にあたる人）がさらにその後ろに並ぶ。
- 誤答時は誤答者のみが列の最後尾に並ぶ。
- スルー時は、ボタンについている先頭の者（【初期配置イメージ】における回答席左側の7にあたる人）が列の最後尾に並ぶ。
- 参加者がボタンの数以下になるまでは、間を空けずに詰めてローリングする。
- 2×すると当該セットで獲得した○を失う。
- 各部屋での順位は「累計の○の数」→「失格が遅い順」→「選手番号の小ささ」とし、その順に部屋移動イメージのとおり移動する。

【初期配置イメージ】



【部屋移動イメージ】



※1位、4位、7位…はその部屋に残留

【移動先早見表】

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
第一会議室	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1
第二会議室	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2
第四会議室	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4	1	2	4

プレーオフ ローリングクイズ（？人→4人）

- 予選成績をもとに、参加者を「抜けた早さ」→「○の数」→「選手番号の小ささ」の順に並べる。ボタンは9個。
- 50問限定で行い、移動方法は予選と同様
- 予選の○の数を引き継ぎ、先に12○到達した4名が勝抜け。誤答は即失格となる。
- 問題限定終了時は「○の多さ」→「1○1×プレーオフ」で決定する。

準々決勝 7○3×（5人→2人×4）

- 40問限定の7○3×クイズ。
- 予選成績をもとに、蛇腹で4組に分ける。
- 各組上位1位と2位に1○のアドバンテージをつける。
- 先に7○した2名が勝ち抜け。
- 問題限定終了時は「○の多さ」→「×の少なさ」→「1○1×プレーオフ」で決定する。

準決勝 早押しボード（8人→4人）

- 25問限定の早押しボードクイズ。
- 問題が読まれボタンが押されると、そこまでの問題文がもう一度読まれ、5カウントする。
その間に全員がボード回答をする。ブザーが鳴った以降に追記・修正を行った場合は、誤答とする。
ボタンを押した者は回答を発声しながらボードをあげる。発声がない・間違っている場合は記載があっても誤答とする。
- 押して正解+2、押して誤答-2
ボード正解+1、ボード誤答0
- 2×で早押し権利を失い、以降はボード回答のみ可能。
- 15pで勝抜け。
- 問題限定終了時は「ポイントの多さ→同様のルールで差がつくまでサドンデス」で決定する。

決勝 涙の乗車券（4人→優勝）

- ボードゲームのチケットトゥライドを元にした企画。
- 50問限定の早押しクイズ。
- 問題数限定終了後、一番ポイントの多い人が優勝となる。
- 4個×がつくと失格となる。ただし、後述の乗客回収に伴う×がついた場合は、回答権を失うのみでポイントは残る。
- 正解すると車両を2両得る。その後
 - ①何もしない
 - ②路線敷設
 - ③乗客回収のいずれかを選べる。

②路線敷設…所持している車両を使って路線を1本敷設する。このとき、路線に書かれている分の数字だけ車両を使う。一度に敷設できる路線はひとつだけで、敷設済みの路線には引けない。※駅間によっては2路線ある場合があり、それぞれ路線を引くことができる。

【路線で得られるポイント】

1車両：1ポイント 2車両：2ポイント 3車両：4ポイント 5車両：7ポイント 6車両：10ポイント

③乗客回収…乗客回収ができるのは一人につき一度だけである。駅の上に記載されている乗客を回収できる。このとき、自分が敷設した路線を一筆書きに通るように回収する。ただし、乗客回収を発動した時点で一度も誤答していない場合は、1路線だけ他の人の路線を通ることができる。**さらに、乗客回収を発動すると1×増える。**乗客1人あたり1ポイントが加算される。

※回収された乗客はその駅から取り除かれる

※同一駅間にある2路線を獲得していても、回収時に往復することはできない。

